

## 8 月度低山はいかい「長坂オオムラサキ自然観察歩道 と飯盛山」実施報告

実施日：8月25日（日）～26日（月） 天気：25日晴れ、26日くもり

概要：夏の一泊低山はいかい、初日は 長坂オオムラサキ自然観察歩道を歩き、2 日目は小海線野辺山駅から飯盛山に登り清里駅で解散した

参加者：14名

（主幹事）臼井治子、宮入芳雄、津田 勝、田口農雄、安田英司、谷井ちか子、浜畑祐子  
瀬川真治、福重昌行、吉野早苗、長谷川恵一、福田正男、小田野紀芳、小勝眞佐枝

報告者：宮入芳雄

本文：

陽射しは夏なのに、空気は乾燥して爽やか。8月25日、中央本線「長坂駅」前はすごく気持ち良かった。目の前には南アルプスの「甲斐駒ヶ岳」がそびえています。駅前で開会式。「低山はいかい倶楽部」初参加の私は、これからの2日間気持ち良く歩き、気持ち良く酒を飲む気でいたのですが、突然レポーター役に指名されてしまいました。これは大変。突然記録を取り、写真を撮り出しました(楽しめ無いなあ)。

今日のコースは「オオムラサキ自然観察歩道」。幹事の臼井さんの案内で、大深沢川沿いの雑木林の道を行きます。カワラナデシコ、カワラケツメイ、ヤブツルアズキなど私の住む地域では見られない植物が姿を現します。壊れた丸木橋を通過するなどのスリリングな体験もし、「昭和溜池」付近で昼食。瀬川さん復元の「カブトムシ飛翔標本」が絶品でした。昼食後は、田園地帯を歩きます。八ヶ岳を遠望する地点では、解説看板が・・・分かりやすい。今日のコース全域で見られたクスサンの繭の「すかし俵」。まだ木に付いているのを発見。それなりに盛り上がりました。「日野春駅」で「オオムラサキ自然公園」へ行く派と昼から生ビールを飲みたい派とに分かれ別行動(私は当然こちらです)。小淵沢で合流し、小海線の「佐久海ノ口駅」下車。海ノ口温泉で温泉を楽しみ、夕食からそのまま振り返り、反省会に進み・・・最後は良く分かりませんでした。

二日目、8月26日。「野辺山駅前」からスタート。単調な自動車道沿いを行き、途中から山道に入り、「平沢峠(獅子岩)パーキング」に到着。ここから本格的な「飯盛山」への登山道。フィールドワークである臼井さんの解説が素晴らしい。ハナイカリ、シモツケ、シモツケソウ、タチフウロ、ノコギリソウ等々。「飯盛山」が見えだした頃から高原？高山？の雰囲気。マツムシソウ、アサマフウロ等の群落が美しい。

11：20「飯盛山」山頂、到着。南アルプスは見えず、八ヶ岳も稜線は雲が掛って見えませんでした。全て見えていたなら、ナウマンが「フォッサマグナ」を発見した風景を見られたのですが、それはちょっと残念でした。山頂で記念写真を撮り、下の広場で昼食。何故か前日泊の「ホテル和泉館」のおにぎり弁当が絶品の美味しさ。普段この手の弁当は残すのですが、珍しく完食しました。

午後、夕立の予報もあったので早目に平沢集落に向け下山。ここでも臼井さんの解説が冴えます。アオナシ、ムカゴイラクサ・・・もう後は憶えきれません。平沢集落に着いたのは午後1時過ぎでしょうか(記録していないので)。ここからタクシーで清里へ。蕎麦屋で振り返りをしました(この間かなりの夕立)。

初めての参加でしたが、良く歩き良く飲みの日間でした。ありがとうございました。

ちなみに私の万歩計では、初日 19180 歩。二日目 22344 歩でした。

以上



オオムラサキ自然観察歩道



オオムラサキの一生



観察歩道・10km



八ヶ岳連峰・遠望



飯盛山登山ルート



飯盛山・頂上



アサマフウロ



飯盛山